

夢のつづき

高校野球選手権

福岡大会手記

福岡県立福島高等学校野球部保護者会

会長 楠 本 仁 志



選手の整列を、スタンドから静かに見届けた。「試合終了」まだ空には入道雲が立ち昇り、スコアボードの大会旗は、緩やかな風でなびいていた。第107回全国高校野球選手権福岡大会準々決勝、敗退。

我が福島高校野球部は快進撃を続け、大会出場校132校、創部初のベスト8進出を成し遂げた。

ここまで5試合、エース古賀春吏(しゅり)は全試合に登板し、球数は560球を超えていた。

満身創痍の準々決勝は、序盤から大量失点し、このままではコールドゲームを覚悟した。しかし、中盤は

福島が得点を重ね、3年生は全員出場。最後まで諦めず、9回まで繋いだ。福島高校野球部の今夏、最後に相応しい試合だった。

遡ること一年前、私は保

護者の総意にて、会長職を仰せつかりました。会に課したスローガンは「一人でも多く応援してもらう、地域に愛される球団を目指そう。また、今まで関わってこられた方々に今一度、「あの日、あの時」の頃のように、熱い想いを再燃してほしい。そのために我々も感謝の気持ちをもって応援しよう」と皆に伝え、始動しました。

「このメンバーはすぐく楽しみです」1年生で入部したての、まだ体形が細く、真つすくな眼差しの彼らを見て、幾竹先生がそう言われていたことを思い出します。

今大会は県大会出場が決まった時点で、小川会長をはじめ同窓会役員の方々が校長先生と打合せしてくださったおかげで同高吹奏楽部や在校生の応援を募っていただき、バスを数台手配していただきました。おかげでスタンドは大活況となり、相手強豪校に引けを取らない福高大応援団となりました。

「応援は力になる」選手たちがその声援と願いが励みになり、良いプレーが生まれたことと実感しました。今大会で話題になったことはベスト8のうち、八女地



区からは3校が残っていたこと。

西短大附、八女学院、そして福島。メディアでも話題に上がりました。

強いて言わせてもらおうと、

福島は勧誘もしない、入部生も何人かも入学しないとわからない、県外から来た特待生もいない、決められた校区内で通学している、普通の野球少年が、同じ時代に生まれ、福高で出会えた仲間たちなのです。幾竹先生、山口先生の指導のもと、選手が楽しく笑顔を滲ませて野球をしている姿。片田舎の無名公立校の快挙。それこそが福島高校野球部の大いなる価値であり、誇りだと思えます。

試合の実況では「ベンチの雰囲気も良く、スタンドと一体となって応援する福島は、清々しい空気が流れている」と、実にうれしい名言をいただきました。

選手たちは毎試合、笑顔絶やさず土埃と汗にまみれた姿はとても輝いていました。笑顔でプレー出来たこと、声を掛け合えたこと、



励ましあい歓喜に沸いたこと、最後まで力を出し切ったこと、最後まで諦めなかったこと、私たちも声援を送れたこと。三年生部員全員出場し、最後に残った8校にしか見られない、景色が見られたこと。

そして、福島高校野球部のOBの諸先輩の方々と同窓生の方々が今日まで繋いでくださった縁をいただいたことと、歴史的快挙に立ち会えたこと。そのすべてが充実し、嬉しくて、試合後、こみ上げた涙を抑えきれませんでした。

大会ベスト8、まだ夢のようです。長い夏を楽しませていただきました。選手たちを誇りに思います。顧問の幾竹先生は、今夏を以って勇退されました。福島高校野球部監督を「24年間」お務めいただいたと聞きしました。これまでご指導いただき感謝申し上げます。

また、新監督は前田先生、年齢は「24歳」と聞いております。年齢的に、福高

がもたらした縁を感じます。次世代に更なるステージを託し、新たな福島野球部の出発を期待しております。

今回、手記を取らせていただくにあたり、役員の皆様には厚く御礼申し上げます。とともに、今後も当校野球部のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、福島高校並びに、同校同窓会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。チームスローガン

「One for all, All for one」令和7年8月吉日



福島高校同窓会会長

故 小川勲氏を偲んで

角 久 子

百周年の準備段階にて(思い出)

ある時の事です。私が募金の額が他校と差があると意見を言う「みなさんに無理迷惑をかけお願いするから申しわけない」との事です。会長は温厚で何事にも行動力があり、その上優しすぎると思いました。

卒業生は2万余人、百周年を会長はじめ理事会で実施することが決まり、たまた同窓会のお世話をしている私は、会長から事務を仰せつかりどうしたものかと気が気ではありませんでした。

学校、父母教師会、全日者数、生徒708名、行政教育関係、父母教師会、同窓会関係、本校教職員全員合計967名で記念式典をはじめ祝賀行事も盛大に終り、特に一生懸命お手伝い頂いた本校生徒さんたち、また百周年に携わられた皆様本当にありがとうございました。

私は、小川会長のもとに同窓会のお世話をさせて頂き改めて感謝申し上げたいと思います。

学校では、寄附頂いた方の名簿、金額集計週間ごとにチェックしては理事会を開く準備と本当にお世話かけ、会長は度々出向かれ頑張られました。



100周年の式典の様子

同窓会を代表して、小川栄一会長がお参りさせていただきました。